

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
02107	辺地事業	まちづくり政策課	まちづくり係	松尾 一利	宮原 修二
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 29 日	連絡先(内線)	2225
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5616	上野総務管理事務	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	5608	鴻ノ田総務管理事務		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	2節	地方分権化に積極的に対応する	
		項[基本施策] (コード選択)	322	集落の環境整備と誘導	
主な取り組み (コード選択)		3221	上野辺地総合整備計画の推進(道路改良工事、簡易水道、合併浄化槽整備)		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 16 年度 ~ (終了予定) 20 年度	L	開始時期不明	J	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

上野地区住民に対して道路整備等の基盤整備を行う
鴻ノ田地区住民に対して21年度～の事業の計画を作成

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

辺地で整備が遅れている箇所に積極的に投資し都市部との差をなくす。
平成21年度からの鴻ノ田辺地計画を作成し、21年度当初から事業開始できるようにする。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 浄化槽の設置に対して補助することにより、地区住民の清潔で快適な生活環境の向上を図る。
- 簡易水道施設整備に対して補助することにより、浄化槽設置による水道使用量の増加による配水管への負担増加に対応し、住民の快適な生活環境の向上を図る
- 町道路線の改良に対して補助することにより、地区外への交通をさらに容易にし、経済活動を助長して地域住民の生活水準の向上を図る。
- 鴻ノ田地区住民の要望を受け辺地計画を作成する。

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		25 年度(見込み)	
①	指標名 辺地事業の進捗率(累計)	%	90	100	100		100
	説明 上野辺地総合整備計画に基づく進捗率	目標値設定の根拠	実績値と予算からの実現の可能性から				
②	指標名 辺地事業の進捗率(累計)	%	0	0	30		100
	説明 鴻ノ田辺地総合整備計画に基づく進捗率	目標値設定の根拠	計画と予算からの実現の可能性から				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		25 年度(見込み)	
①	指標名 上野地区の人口の減少率(平成17年を100とする)	ポイント	93	93	93		93
	説明 辺地事業の実施により人口減少に歯止めがかかったを計る。(17年4月の地区人口120名)	目標値設定の根拠	辺地事業の実施により住環境及び利便性が向上し、人口の地元定着が図られる				
②	指標名 鴻ノ田地区の人口の減少率(平成20年を100とする)	ポイント	0	0	100		100
	説明 辺地事業の実施により人口減少に歯止めがかかったを計る。(20年4月の地区人口106名)	目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	184	1,638	183	183						
対前年比		%		890.8	11.2	100						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)			0	0	0	0						
B) 一般財源(税金)			184	1,638	183	183						
①事業費		(千円)	0	0	0	0						
対前年比		%		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!						
②人件費の概算		(千円)	184	1,638	183	183						
対前年比		%		890.8	11.2	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H20 H21 H22	H19 H20 H21 H22	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.04	0.01 0.01	0.21 0.01 0.01	0.02 0.25 0.02	0.02	184	1,638	183	183
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → C 把握していない 鴻ノ田地区については説明会を3回開催し、また区役員との打合せも数回行った。その中で把握。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

21年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
[反映内容]		
20年度が最終年度であるため次は21年度からは鴻ノ田地区の計画が始まる。		
事業費		

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

地域の要望に添った平成20年度までの計画が事業施行され事業効果も大きい。	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ 上記 a~e を選択